

今日のお昼は

# 葉隠れ一番

K. Fukusaki

暑い日だったのだ。夏やから当たり前やけどとにかくうだるようなアツさやった。さらに個人的には、昨晚ええ加減飲んで、しかも朝の4時まで麻雀をやっていたのだから、けだるさいっぱいでたまらない。

都電の取材も皆に引っ張られるように惰性でこなし、ようやく着きました、終点・早稲田。

「ビール！ビール！」「めし！めし！」などいつものようにわめきつつ、『とりあえずどこでもいいけどビール飲めるところ』、という基本コンセプトを携え、多少の吟味の結果、中華食堂・「葉隠れ一番」に今日のお昼は決定！

さてさっそくメニューを紹介しよう、と言いたいところだが、アルコールを摂取したときの記憶は今一つ曖昧だ。だから値段等は忘れてしまって書けない。まあ普通の中華料理店のレベルだと思ってもらえればええんとちゃうかな。

まず「ビール」だが、サッポロの黒ラベルだ。黒ラベルの嫌いなB氏はいやな顔をするが、私は飲めればそれで良いので良いぞ。とりあえず3本注文。のちに2本追加。

中華と言えば「餃子」だ。東京の中華界では、「ジャンボ餃子」なるものが流行しているらしい。ジャンボの名に恥じず、大きさは握り拳を縦2つに割ったくらいはあろうか。それが4つで500円ほど。1つ食べるのにまあ普通の人なら5口くらいはかかるんちゃうかな。一口で喰え、と言われたら、口の

中に入らんことはないやろけど、やけどするやろな。このジャンボ餃子、3人が注文。ちなみに「半ちゃん餃子」というのもあって、数が半分・値段も約半分というメニューだ。じっさい「ジャンボ餃子+定食」などと言う注文をしてしまい、持て余した輩もいるくらいだから、「半ちゃん」というメニューは、なかなかどうして消費者の胃袋とチープな経済状態を見越した優れた設定といえよう。

つぎは「井もの」だ。中華井・天津飯・ホイコーロー井・焼肉井などバラエティ豊かだ。私はホイコーロー井を注文。驚いたことに井ものはすべて平皿でやってくるのだ。味が染みやすくて良い反面、これではすぐに冷めてしまうぞ。しかしまあ美味しいので よし としよう。

最後に定食類。6種類ほど設定されていた。たしか SYさんが「葉隠れ定食」を注文していたようだが、詳細は不明。たしかラーメン+飯+一品という構成だったように思うが。私は目の前にあるビール・ジャンボ餃子・井を平らげることに集中していたもので……。

## 評 価

高くもなく、味も良し。ビールでほろ酔い。お腹もいっぱい。クーラーも効いて、こりゃ極楽やなあということで……GOOD。